

東京都教職員研修センターでは教員研究生、大学院派遣研修の成果報告会、発表会を開催しています。

平成29年度 長期派遣研修説明会

■平成29年5月13日(土)
午後2時～

○新教育大学大学院派遣研修、大学院設置基準第14条適用大学院派遣研修、教職大学院派遣研修、教員研究生について各実施要綱、募集要項に基づく説明と、各教職大学院担当者から特色等の説明をします。

平成30年度教職大学院入学説明会

■随時(祝日等に授業公開をしている大学もあります)
□各教職大学院にて

○各教職大学院の特色について、受験に係る内容や入学までの手続き、カリキュラムの概要や施設等の説明があります。教授や在学生の話を直接聞くことができます。詳細は各教職大学院へお問い合わせください。

平成29年度 カリキュラム開発研究発表会

■平成30年3月上旬

○平成29年度の教員研究生による一年間のカリキュラム開発研究の発表を行います。
○平成29年度の教員研究生によるカリキュラム開発研究の研究報告書を配布します。

平成29年度 大学院派遣研修成果報告会

■平成30年3月中旬

○平成29年度の大学院派遣研修者による一年間の学校課題研究の取組に関する報告を行います。特に、東京都教育委員会と連携している5つの教職大学院については、それぞれの教職大学院への派遣者が、研究報告を行います。

東京都教職員研修センター ホームページで報告書を 掲載しています。

ホームページへのアクセス方法



ホームページアドレス：<http://www.kyoiku-kensyu.metro.tokyo.jp/>



①東京都教職員研修センターホームページから、「研究成果の活用」を選択

②「研究成果の活用」ページから「大学院派遣研修・教職大学院派遣研修報告書」又は、「教員研究生の報告書」を選択

研修番号3201～3 派遣研修(大学院)

研修番号3204 派遣研修(教職員研修センター)

東京都教職員研修センター

自己のキャリアアップを目指して ～長期派遣研修を活用した資質・能力の向上～



学校を離れて、大学院や東京都教職員研修センターでの学びを通して、子供のことをじっくりと考えるチャンスです。

1年間、仲間とともに、じっくり研究ができます！！



東京都教育委員会は、教科等における高い専門性を身に付け、指導的役割を担うことのできる優れた教員の育成を図るため、大学院等派遣研修(新教育大学大学院派遣、大学院設置基準第14条適用大学院派遣、教職大学院派遣、教員研究生)を実施しています。派遣期間が1年間又は2年間にわたる長期の派遣研修です。

教員としての児童・生徒の指導経験や学校経営への参画経験を活かして、更なるキャリアアップを目指す教員を対象としています。これまでも、長期派遣研修を経験した多くの教員が、指導主事等や学校管理職等として様々な立場で活躍しています。

長期派遣研修は、派遣期間中も教員としての身分は保障され、給与を東京都が支給します。教員としての今までの取組を振り返り、時間をかけてじっくりと研究と修養に努めることができる、またとないチャンスです。

詳しくは裏面へ➡

派遣研修名	新教育大学 大学院派遣研修	大学院設置基準第 14 条 適用大学院派遣研修	教職大学院派遣研修	教員研究生
事業の主な 目的	現職教員を、新教育大学大学院に派遣し、教科等における専門性を養い、優れた教育実践を展開できる力を身に付けた指導的立場の教員を育成する。	現職教員を、大学院設置基準第 14 条を適用している大学院に派遣し、教員の資質向上に資することのできる指導的立場の教員を育成する。	現職教員を、教職大学院へ派遣し、各地域や学校における指導的な役割を果たすことのできる確かな指導理論と優れた実践力や応用力を身に付けた教員を育成する。	現職教員を、東京都教職員研修センターに派遣し、学校経営や学習指導等についての高い専門性を備え、指導的な役割を担う学校教育のリーダーとなる教員を育成する。
研修期間 研修派遣先	<p>2年間</p> <p>○上越教育大学大学院 ○鳴門教育大学大学院 ○兵庫教育大学大学院</p> <p>※派遣者が上記の3大学院から研修先を志望できます。</p>	<p>1年間（修学期間2年）*1</p> <p>大学院設置基準第 14 条適用大学院</p> <p>※派遣者が全国の適用大学院から研修先を志望できます。</p>	<p>1年間</p> <p>○創価大学教職大学院 ○玉川大学教職大学院 ○帝京大学教職大学院 ○東京学芸大学教職大学院 ○早稲田大学教職大学院</p> <p>※派遣者が、左記の5教職大学院から研修先を志望できます。</p>	<p>1年間</p> <p>東京都教職員研修センター</p> <p>※研修センター所蔵の多種多様な教育資料を活用し、集中して学べる環境が用意されています。</p>
募集人数	1名程度	3名程度	30名程度	15名程度
主な研修内容	<p>○派遣先の大学院の定めたカリキュラム等に基づき、所属校を離れ2年間にわたり研修を行います。修士学位の取得を目指します。</p> 	<p>○派遣先の大学院の定めたカリキュラム等に基づき1年目は所属校を離れ研修を行います。2年目は、所属校に戻り、夏季休業中や夜間を利用して研修を行い、修士学位の取得を目指します。</p> 	<p>○派遣先の教職大学院の定めたカリキュラム等に基づき研修を行い、専門職学位（教職修士）の取得を目指します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育課程の編成 ・各教科の実践的指導内容 ・生徒指導、教育相談 ・学級経営、学校経営 ・学校教育と教員の在り方 <p>☆選択科目等で自分の興味・関心のある分野について学ぶことができます。</p> <p>○学校課題研究 学校教育に関わる課題解決を図る研究を1年間かけて行います。</p>	<p>○教育課題研究 東京都の喫緊の教育課題に関する研究に携わることにより、教科等の専門性を高め、教育課題解決のための研究方法等を学びます。</p>  <p>○カリキュラム開発研究 東京都の教育課題を踏まえ、各教員研究生がテーマを設定して、教科等に関する研究を行います。</p> <p>○実務研修 東京都教職員研修センターが実施する研修の運営に携わることにより、教育行政と学校教育との関わりを理解し、教員としての視野を広げます。</p>
研修費用 (学費等)	<p>原則自己負担</p> <p>検定料、入学金、授業料、現地での研修に伴う旅行費及び居住に関わる費用等がかかります。赴任旅費、通学交通費は都が負担します。</p>	<p>原則自己負担</p> <p>検定料、入学金、授業料、研修に伴う旅行費等がかかります。通学交通費は都が負担します。</p>	<p>原則自己負担（学費の一部を公費負担）</p> <p>検定料、入学金、授業料がかかります。通学交通費は都が負担します。選考結果等に応じて一定数の派遣者に対して、学費の一部（入学金、授業料、通学交通費）を都が負担します。*2</p>	<p>研修に関わる自己負担なし</p> <p>研修費用、通勤交通費は都が負担します。</p>
主な応募資格	<p>○原則として、主幹教諭、指導教諭、主任教諭、主任養護教諭である者</p> <p>○修士課程の就学にふさわしい教育実践、研究実績を有すること</p> <p>〔例〕教育研究員、研究開発委員会委員、東京教師道場部員、各学校や区市町村においての研究を指導的立場で推進した者等</p>		<p>○平成30年3月31日現在、年齢が43歳未満の者で、教職経験を7年以上有し、そのうち東京都立学校での教職経験を3年以上有する者</p>	<p>○平成30年3月31日現在、教職経験を6年以上有し、そのうち東京都立学校での教職経験を3年以上有する者</p> <p>○平成29年度教育管理職選考を受験しない者</p>
応募締切	平成29年5月中旬		平成29年6月上旬	平成29年7月下旬

*1 派遣期間は1年間。修学年限は2年間。修学2年次は所属校で勤務を行い、勤務時間外に通学します。

*2 派遣後の5年以内に退職した場合、学費を償還する義務があります。